

なかよく 令和6年度10月号
かしこく



150th Anniversary 元気よく

令和6年10月31日 文責 黒木 幸博

中学校の合唱祭



今年も、5年生と6年生が参加しました。練習の成果を発表する場だけでなく、中学生（湯前中、西米良中）の合唱を聞くことで「中学生になったら…」と未来の自分をイメージするよい機会となりました。

湯前小学校・中学校は、これからも「連携校」として、互いの良さを出し合い、伸ばし合い、子供たちを育てていきます。

ちなみに、11月は中学校の文化祭（伝統芸能）を小学生全員が参観します。「ふるさと教育（故郷を理解し、愛する心を育てる）」の一環です。

学校HPの紹介

子供たちの日々の活動を紹介しています。2学期もお楽しみに！右のQRコードからご覧ください。



「チーム学校」の学校運営を行っています

昨今、学校（先生方）は様々な課題に直面し、対応が困難化、複雑化しています。

学校（先生方）は、国が示す Society5.0（日本が目指す未来の社会）の実現に向けた教育活動や、個別最適な学びと協働的な学びによる「令和の日本型学校教育」に取り組むだけでなく、目の前にいる子供たちの現状や課題を解決するための取組にも力を注がなければなりません。

学校の正常な運営、子供たちの健全な育成、そして先生方は「教師の仕事に専念できる」適正な働き方のために、学校は「チーム学校」としての運営が必要不可欠です。

では、チーム学校とは何か！

新しいことではありません。健康診断に協力してくれる学校医や学校歯科医などの先生方、毎朝、正門でみんなを迎えてくれる交番の河津さんも「チーム学校」のメンバーです。

教育委員会や学校運営協議会、地域学校協働本部の方々はもちろん、学校カウンセラーやスクールソーシャルワーカーという職種の方もいます。その他、町の健康福祉課や社会福祉協議会、民生・主任児童委員のみなさんなど、たくさんの方が「チーム学校」のメンバーとして、学校運営をサポートしています。

そして、運営上重要なのが、「チーム学校」の方々に、イベントや非常時に協力してもらうだけでなく、日常の学校（子供たち）の様子を知ってもらうことです。したがって、たくさんの方が、代わる代わる毎日のように、日常の授業や休み時間の様子を見に来られています。

学校職員以外の人たちを頻繁に学校で見かけるのは、こういう理由です。



10/22（火）教育委員会の皆さんが授業参観等に来られました。



10/23（水）中学校や保育園、こども園の先生方が授業参観等に来られました。

授業中の姿（発表したり学習に集中したりしている姿）や休み時間の笑顔を見られ、訪問された方々から「きてよかった」「元気をもらえた」という感想をいただきました。

校長より

校長室前の【今月の言葉】

「学ぶ意味は学びきるまでわからない。

『学ぶ意味がわからない』というのは安直である。」

進学校として有名な東京の私立高校の先生が生徒たちにいつも語りかけている言葉です。

私も、勉強に限らず、何事も「やりきったときに、それまでの努力の意味がわかる」と思います。始める前から、又は、始めてすぐにあきらめたり、投げ出したりするのは、もったいないと思います。「自分を信じて」がんばってみましょう！